

**今回の紹介地区 No.046 高知県 いの町 <sup>じょうとう</sup>上東地区**

**耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例**

**状況**

地区概要：農地面積 18.6ha、うち耕作放棄地 1.3ha  
 放棄の理由：農業者の高齢化に伴う労働力不足、鳥獣害等  
 荒廃の程度：雑草や竹の繁茂により、人力・農業用機械による作業が必要

**取組概要**

対象面積：0.18ha(田)  
 実施期間：平成22年 1月14日～2月22日  
 取組のきっかけ：経営規模の拡大の意向を持っていた営農組合が、8月に県出先の担当者から本対策の説明を受けたことをきっかけに、地域協議会に相談を行い取組が始った  
 調整経緯：営農組合代表者自らが地主と交渉し、県出先担当者と農業委員会の協力を得ながら地主と協議、利用権設定を行った  
 取組主体：農業者(予定作物：柚子、葉ワサビ等)  
 作業内容：雑草の刈払・処分、整地、土壌改良

**今後の予定**

平成22年2月に再生作業、土壌改良(肥料投入)を実施し、その後柚子、葉ワサビ等を作付け



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

問い合わせ先：いの町地域担い手育成総合支援協議会 088-893-1115 (いの町産業経済課)

## 今回の紹介地区 No.047 福岡県 うきは市 うきは地区

### 耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

#### 状況

地区概要：農地面積 2,535ha、うち耕作放棄地 217ha

放棄の理由：高齢化による労働力不足等

荒廃の程度：うきは市の農用地の約8.6% (217ha) が耕作放棄地になっており、その内の88% (192ha) が中山間地を中心に山林原野化

#### 取組概要

対象面積：0.24ha(畑)

実施期間：平成21年12月5日～平成22年3月24日

取組のきっかけ：地域協議会が、6月に農業者等へ耕作放棄地再生利用に係る通知を送り、9月に本制度の説明会を実施した。これにより、営農組合から事業参加の希望があり、12月から具体的に事業を開始した。

調整経緯：地主と利用者として契約を行い、実施に至る

取組主体：営農組合【平成22年4月に法人化予定】(作物：春そば)

作業内容：刈払、抜根、整地等

#### 今後の予定

一般的に秋そばが主流であるが、6月からの需要期を狙い、5月に収穫し直売する予定



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

今回の紹介地区 No.048 長崎県 西海市 横道地区 よこみち

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

**状況**

地区概要：農地面積 5.7ha、うち耕作放棄地 1.54ha  
 放棄の理由：高齢化による労働力不足、耕地条件が悪い等  
 荒廃の程度：雑草の繁茂に加え雑木の侵入も認められ、人力・農業用機械や重機による再生作業が必要

**取組概要**

対象面積：0.36ha(田)  
 実施期間：平成22年1月～平成22年2月  
 取組のきっかけ：本地区は耕作放棄地が有害鳥獣のすみ処となり、農作物への被害が深刻な問題となっており、本対策について12月に市が農業者に対して説明会を行い、このうち自家飼料作物の栽培、鳥獣害防止の意向のある農業者が事業に取り組むことになった  
 調整経緯：当該農業者が直接、地主と調整を行い、利用権設定を行った  
 取組主体：農業者(予定作物：飼料作物の作付け)  
 作業内容：刈払、抜根、整地等(重機は自己所有)

**今後の予定**

今年度は狭地直しを実施。平成22年3月に飼料作物を作付けし、収穫物は自己利用及び近隣畜産農家への供給を計画



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後